

# おめでとう！中大野球部 1部復帰

## 1・2部入れ替え戦結果

6/7(土)	駒澤大 4-2 中央大
6/8(日)	中央大 2-0 駒澤大
6/9(月)	駒澤大 2-4 中央大

母校の硬式野球部が6シーズンぶりに1部復帰を果たした。緑が濃くなるキャンパスもお祝いの雰囲気漂っていた。元巨人軍投手の高橋さんが今季から監督に就任し、中大野球部はマスコミに注目されはじめていた。就任1年目で2部に低迷している中大野球を監督一人でどの程度変えられるのか関係者の間でも見方が分かれていたようだ。2部優勝、1部復帰は、お見事の一言に尽きる。讃辞をお送り上げたい。スポーツ紙によると、高橋監督の革命結実とある。投手はブルペンでの練習ではなく、打者が立ち捕手がサインを出し、変化球も織り交ぜる実戦形式に徹し、そして選手全員に試合を常に意識させてきたと報じている。

2部春季リーグの開幕は4月9日で、初戦の相手は拓殖大であった。1回戦は、2-6で敗れた。高橋監督はその日のうちに神宮から多摩キャンパスに戻り練習を指導した。野球部の練習を長年の間見続けている人によると、こんなことは初めてであると言っていた。変化は確かなものとして続いていたのだろう。



1部復帰を喜ぶ母校野球部員(上)と力投する渡辺投手(下)



元巨人軍投手、高橋監督の6シーズンぶりの快挙に沸く



構内に掲示された祝いの垂れ幕

2・3戦と連勝し勝ち点1を挙げた。続いて、国士舘大・専修大・國学院大から勝ち点を奪い、この時点で勝ち点4は東洋大と同じであった。優勝決定戦が5月19日から神宮第2球場で始まり、初戦・2戦と連勝し東洋大を退けた。2部優勝、1・2部入れ替え戦への進出が決まった。

2面に続く⇒

1年生 渡辺投手がノーヒットノーラン

⇒1面から続く

6月7日、駒澤大と1部復帰をかけての闘いが神宮球場で始まった。野球好きの白門50会のメンバーも総会出席前にこの1戦を応援した。バックネット・一塁側の席から年配の卒業生の声援が数多く飛んだ。試合は、ヒットの数では相手チームの倍の12本を打ったにもかかわらず負けてしまった。

第2戦は、1年生投手の渡辺君による11奪三振のノーヒットノーランで快勝し、最

終戦は4点先行での逃げ切り勝ちであった。ついに1部復帰を獲得した。一塁側ベンチ前での胴上げが歓喜を表していた。

今シーズンからテストケースではあるが、野球場に足を運ばないファンのためにインターネット配信を中央大学で始めた。音声入りで秋シーズンも続けてもらいたい。全国の白門50会の人でもこれで試合が楽しめ応援ができるだろう。次は、一部での優勝を期待し秋を待つこととしたい。

(了)

## 車は家族の一員 政金 驍さんが講演

平成20年度白門50会総会

文・山井俊昭

平成20年度白門50会の総会は、平成20年6月7日(土)午後5時から駿河台記念館6階680号室で行われました。17人の参加でした。

例年、総会の前に白門50会の有志から講演をして頂くことになっています。今年は、政金驍さんが手を挙げてくれました。講演テーマは「車は家族の一員」で、4時から約1時間お話ししていただきました。

道路運送車両法第47条に定める「自動車所有者の点検、整備義務」について、ブレーキ、タイヤ、バッテリー、原動機、灯火装置及び方向指示器、ウィンド・ウォッシャー及びワイパーなど各部分ごとの点検のポイントを説明してもらいました。何気なく毎日乗っている車について、安全、安心と当たり前のように思っているのは、実は油断であり、日常の点検こそ大事だと。「車検を取ったばかりだからあと2年は大丈夫」と思っているのは、車検は安全を保障するものではなくてその時の各数値が満たされていれば通るもので、決して安心してはいけない、というお話。

日本の車は優秀すぎるためか、運転者はボンネットをめったに開けたりしないし、タイヤの山はすり減っていても気にもせず、高速運転でも空気圧を上げたりしないし、ブレーキランプが切れてないかなどあまりに点検を忘れてしまっているのではないかと。

最後に、政金さんのお孫さん山上 詩織ちゃんがおじいちゃんのために書いてくれたという作文を披露してくれて、大きな拍手で盛り上がりました。



「車の点検を怠りなく」と話す政金さん

日ごろの「健康管理」が大切です

### 車は家族いじょうのかんけい

わたしたち家ぞくの心は、いつもいっしょです。

けれど、車は家ぞくですが人間と心をいっしょにはできません。車は人間にうごかしてもらうものです。けど、車は人と同じところがあります。それは、いつかは死んでしまうということです。

車をいつまでも大切に。

車を買うときは、車を家ぞくだと思えるかどうかをだいに考えたほうがいいと思います。

車のいのちは、車をうんてんする人にかかっています。車のいのちは、人間と同じようにひとつしかありません。なので車は家ぞくのいちいんだとわたしはおもいます。

(山上 詩織 8才 寒川南小学校)

総会では山井会長が挨拶。硬式野球部の一部入れ替え戦第一試合を応援に行った様子（塩谷さんの記事を参照）や、昨年度の事業、特に箱根駅伝の応援、昨年の忘年会を兼ねた鎌倉散策、今年度の由比さくら海老ツアーの報告を交え、今年の活動方針も説明されました。

議長として山井会長が選任され、議事に入りました。

【第 1 号議案】2007 年度事業報告及び決算について（塩谷幹事長及び清野会計担当）

昨年 6 月 16 日に総会を行ったこと、6 月と 3 月に役員会を行ったことの報告がありました。昨年の総会では、小口隆三会員による「保険の仕組み」について講演していただきました。

事業として、50 会の三大事業である①中央大学ホームカミングデーへの参加②箱根駅伝の応援③親睦会・懇親会等の開催を行ったことの報告がありました。

また昨年度は初めて他の年次支部との意見交換を行いました。年次支部協議会が主催する「留学生の集い」への対応を 47 年白門会、49 年白門会と協議しました。

2007 年度会員名簿は 6 月に発行しました。会報については、今年度総会後に発行の予定です。

2007 年度収支について、収入が 840,994 円、支出が 490,723 円収支差額、次年度繰越金が 350,271 円と報告されました。山賀監事より監査報告があり、全会一致で承認されました。

【第 2 号議案】2008 年度事業計画及び予算について（塩谷幹事長及び清野会計担当）

本年度も最大事業としてホームカミングデーへの参加、箱根駅伝応援、総会を確実に行っていきます。

## HP 充実に力 地方会員への配慮が課題

さらに、季節を見計らい小旅行や懇親会の実施を、事業部会中心に企画していただきます。

ホームページ（HP）の充実に力を入れ、より早く分かりやすく会員に情報が伝わるようにします。

なお、東京への参加が難しい、地方の会員対策を次回の役員会で検討いたします。

予算については、当分の間必要最小限の出費に限るものとし、事業への支出については控えるものとします。

事業については参加費での支弁をお願いしたいと存じます。

第 2 号議案についても全会一致で承認されました。

### 2007 年度活動記録

2007 年 6 月 16 日（土）	講演会：小口隆三氏「保険の仕組み」駿河台記念館
2007 年 6 月 16 日（土）	定時総会開催 駿河台記念館 1)2006 年度事業報告及び決算 2)2007 年度事業計画及び予算 3)2007・2008 年度役員選任
2007 年 6 月 16 日（土）	役員会開催 駿河台記念館
2007 年 10 月 28 日（日）	ホームカミングデーへの参加 多摩キャンパス
2007 年 12 月 15 日（土）	忘年会開催 鎌倉
2008 年 1 月 2 ~3 日	箱根駅伝応援（1泊） 5 区：箱根小涌谷「杉峠イブのけむり」
2008 年 3 月 12 日（水）	年次支部との意見交換会 東京弁護士会館 47 白門会・49 年白門会・白門 50 会の役員 年次支部協議会主催の「留学生の集い」への対応
2008 年 3 月 22 日（土）	役員会開催 駿河台記念館

### 2008 年活動計画

2008 年 5 月 6 日（火）	「さくら海老」ツアー 静岡県・由比
2008 年 6 月 7 日（土）	講演会：政金 驍氏「車は家族の一員」駿河台記念館
2008 年 6 月 7 日（土）	定時総会開催 駿河台記念館 1)2007 年度事業報告及び決算 2)2008 年度事業計画及び予算
2008 年 6 月 7 日（土）	役員会開催 駿河台記念館
2008 年 10 月 26 日（日）	ホームカミングデーへの参加 多摩キャンパス
2009 年 1 月 2 ~3 日	箱根駅伝応援（1泊） 5 区：箱根小涌谷「杉峠イブのけむり」



講演に聞き入る 50 会のみなさん

総会終了後、淡路町「かまどや」で懇親会を行いました。15 人の参加で、大いに盛り上がり、草のみどりの合唱で締めて散会となりました。

# 由比路 初夏の味覚を満喫



香ばしいさくら  
海老のからあげ



色までおいしい！  
さくら海老尽くしの  
料理

5月の連休最後の6日に静岡由比にさくら海老を食べに出かけてきました。ネットで呼び掛け、参加いただいた方は9名、東海道線「由比」改札口正午の集合時間には全員集合しました。晴れ渡った五月晴れ、ミニツアーには少し汗ばむくらいの陽気でした。

駅より西方向、まずはさくら海老が揚がる由比漁港に向かいました。ここでは、漁協が即売所を営業しており、普段は新鮮な生のさくら海老、冷凍さくら海老、シラスなどを買うことができます。予定ではここで土産物を各自購入発送して、その後さくら海老料理専門の「くらさわや」で食事することにしていました。しかし、連休最後の月曜日はあいにく休漁日となっていて即売所も休み、早速の予定変更を余儀なくされてしまいました。

由比はさくら海老の町、旧東海道沿道にはさくら海老を扱う店がたくさんあり、そのうちの軒でお土産を買い、「くらさわや」に向かいました。「くらさわや」は木造の二階建て、薩埵峠に向かう山沿いの道を歩くこと30分、

目にも舌にも鮮やか さくら海老ツアー



由比の眺望(写真左上)とツアーに参加したみなさん(同下)

ピワや夏ミカンの木を両側に富士山を後方に眺めながらのちょうど腹ごなしになるくらいの散歩道でした。

「くらさわや」は、さくら海老料理専門店として有名で、いつも行列ができています。事前に予約を入れていたおかげで到着するとすぐに、長い行列を飛び越して二階に通されました。二階は予約団体専用で、東側の窓からは富士山が正面に見えます。南側には駿河湾が一望、眼下には東海道線、東名高速が狭い海岸線を走っています。かつては、店のすぐ南は海だったそうで、食材を網に入れ、駿河湾をいけす代わりにできるくらいだったそうです。

さくら海老尽くしの最初は、生、酔の物、佃煮とすべてさくら海老、地場の魚のお刺身、かき揚げ、釜めしとお味噌汁、最後はさくら海老饅頭、生ビールを飲みながらわいわいがやがや舌鼓を打ちました。一番人気は、かき揚げ、サクサクする食感に参加者全員の感想は上々で、安藤広重が描いたのはたぶんこの辺からだろうと、富士山を見上げながらの楽しい宴会でした。

「来年も来たいね」と言いながら由比の改札口に入ったのは午後4時過ぎでした。(山井俊昭)